

自ら学び 自ら鍛える
Team 北中

令和3年度 学校報 第3号 令和3年6月1日

発行責任者：瑞浪北中学校校長

担当者：瑞浪北中学校教頭



<合言葉> クリエイティブ瑞浪北中 3rd year
—学校の特長を発信する年—

今身につけなければならないのは

校長

「〇〇君が学年1位でさ……。」

「1年の時には結構（点が）とれたんやけど、2年生になったらとれんようになったよ！」

私の前を通り過ぎて下校する生徒たちの声です。聞き耳を立てていたわけではありませんが、やはり興奮していたからでしょう。いつもより大きな声で生徒たちは下校していきました。

何が話題となっていたか、察しが付くでしょうか。そうです！今年度第1回の実力テストが返ってきたのです。1年と3年は26日に、2年は27日に、生徒たちの「ワクワクだけどドキドキのもの」が返されました。生徒たちの興味め的是、やはり点数であり順位であるようです。それはいつの時代も同じです。今の中学生に限ったことではありません。「点数や順位は気にするな」という方が無理な話で、これからは「気になるのなら、より上げるために手を打て」と言うべきだと私は思います。

1年生の自習の様子を見に行きました。どの生徒も自分で考えて何をどのように勉強するかを決め、無言で黙々と勉強していました。英語の自習では、慣れない英単語を何度も書いたり、教科書と見比べながらワークの問題を解き進めたりしていました。学習に取り組む姿としては確実に中学生らしくなっていると感じました。意識は確かに成長しています。だからこそ、力をつけてやりたい。努力に見合う力が備わるようにしてやりたい。心からそう思いました。

学習の進め方ややり方に心配な部分がありました。

一生懸命単語練習している生徒に近づいて見てみました。ノートに力強い筆跡で、英語の「数」が綴られています。スペルを間違えないように、手本を見て何度も何度も書いたようでした。“thirteen”を6、7回書き終えた時でした。それまでにその生徒が書いた英単語を、私は手で隠しました。

「この状態で書いてごらん」と私が言うと、彼は th まで書いて止まってしまいました。そして、最終的に th の次に書いたのが r でした。i が抜けてしまったのです。“thirteen”の前に練習を終えていた“twelve”を書くように言っても結果は同じでした。最初の twe が書けても、その後がなかなか出てきません。

その原因ははっきりしています。その生徒は写すことを勉強としていたからです。丁寧に英単語を繰り返し書いていても、視線は無意識のうちに書き終えた正解の単語に注がれていたのでしょう。だから、頑張って練習した割には、それに見合う力がなかなかつかないのです。この生徒のノートを見ると、全ての単語が同じ数だけきれいに並んでいました。「この単語はそんなに練習しなくても書けるようになるのでは」と思えるような単語も、同じ数だけきれいに並んでいたのが心配になりました。

ワークに取り組んでいた生徒もいました。これもまた一生懸命に取り組んでいることがわかる丁寧な筆跡が目にとまりました。答え合わせも一通りやっていました。しかし、よく見ると、“english”（英語）“marke”（市場）“she”（文頭にある時）となっているのに赤マルがついています。私の見たページには、赤マルばかりが並んでいました。

ワークなどに代表される記入型の問題集は、一通りやるだけでは力つきません。正解することよりも、問題を解くことで間違いを見つけることの方が大切です。したがって、答え合わせをするときには、間違っていたら、合っていた時以上に喜ぶべきです。そこに自分をレベルアップさせるヒントがあるので、間違いを見つけるためにワークや問題集に取り組む「ワークや問題集



初めて実力テストを受ける1年生

は一度やって終わりではなく、2回3回4回……と複数回やってみる」「間違っただ原因に納得できなかつたら、それを解決すること最優先する（質問する）」こうした学習が必要です。

以上は、全ての教科について言えることです。こういう学習を心がけると、必ず時間が必要になってきます。だれもが神様から与えられた一日24時間という時間を、どのように使うかが肝心になってくるのです。そういう意味で瑞浪北中ではSPTが位置づいています。「私は家では勉強しないよ」などと大きな声で言うてはいけません。それは「練習はしないけど試合で勝ちたい」というのと同じです。それを聞いた人はあきれてしまいますからね。

私は職員にこう言っています。

「自主学习ノートを集めて、家庭学習をやってきたという事実だけにハナマルをつけたり、“Good!”などと書いたりしなくてもよい。間違っているかもしれないのに、それにマルをつけるのは無責任だ。それよりも、ノートを見て問題点を見つけ、学習の仕方を教えなさい。どういう勉強をすれば効果が出るのかをしっかりと指導しなさい。」

学習というのは、「何時間やった」「何ページやった」ということが尊いわけではありません。効果の上がる学習方法で確実に力を付けることの方がはるかに尊いことです。皆さんはもう中学生。学習をやってきたという事実をだれかに認めてもらうことをモチベーションにしているはいけません。「もっともっと力をつけたい」「効果的な学習をしたい」という思いを強くもってください。家族や教師に褒めてもらって学習に取り組む時期は終わったと考えましょう。

この文章を書いた日の二時間目、2年A組の理科の授業で、担当のK教諭がすばらしい指導をしていました。単元テストを通して自分の不十分だったところをしっかりと振り返らせ、どのようにしたらそれが克服できるようになるかを考えさせようと熱く語っていました。まさしく、生徒の皆さんに実践してもらいたいことでした。これからも私たち職員は、皆さんに力を付けるために、どんどんアドバイスしていきます。がんばりましょう！

6月の主な行事予定

日	曜	主な行事予定	下校時刻
1	火		16:05
2	水		16:15
3	木		15:55
4	金		16:15
5	土		
6	日		
7	月	小中部会別研究会 いじめアンケート	13:45 15:15
8	火	3年・IAB 歯科検診	16:05
9	水	2年・ICD 歯科検診 栄養教諭学校訪問	16:15
10	木	期末テスト※制服で	13:45
11	金	期末テスト※ジャージで	16:15
12	土	中体連東濃大会（陸上）	
13	日	瑞浪市主張大会	
14	月	部活動の日	16:30
15	火	2年血液検査	16:05

日	曜	主な行事予定	下校時刻
16	水	学校評議員会	16:15
17	木	部活動の日	16:45
18	金		16:15
19	土		
20	日		
21	月	オープンスクール①※	15:15
22	火	オープンスクール②※ 部活動の日	16:45
23	水	オープンスクール③※	16:15
24	木	オープンスクール④※	16:45
25	金	指導力向上訪問	15:15
26	土	中体連市大会	※競技ごとに
27	日	中体連市大会（予備日）	
28	月	振替休業日	
29	火	教育長訪問	15:15
30	水		16:15

○新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、上記の予定が急遽変更または中止となる場合があります。予めご了承ください。

※6月中旬に予定している「オープンスクール」につきましては、実施の可否・方法等、後日改めてお知らせいたします。